



Title	阪大法学 54巻 4号 表紙／目次
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2004, 54(4)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/55388
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

阪大法学

論 説

憲法と環境基本法	松本 和彦	1
統一ドイツの平和意識	木戸 衛	21
法的パートナリズムと選好 ——パートナリスティックな法介入の効率性——	瀬戸山晃	45
ジャーナリストの概念 ——ジャーナリストの特権のスタンディングをてがかりとして——	前田 正義	75
量刑手続と被告人の「対面権」	島田 良	105
取締役の注意義務と経営判断原則に関する一考察 ——日米韓の比較において——	李 孝慶	133
明治憲法体制における自由権論の変遷	小野 博司	161

翻 訳

予防原則の国際法・EU法における生成過程および イタリアにおける適用状況について（上）	ルチア・ロッシ	191
	松田 岳士／訳	

第54巻 第4号
(2004年11月)
(通巻第 232 号)

大阪大学法学会